

学校番号	2002
------	------

令和6年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「高校生の地理総合」(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)						
副教材等	最新地理図表 GEO(第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとしています。「地理総合」では、世界の様々な国や地域の自然や産業、文化や問題などを、私たちの暮らしと「比較」しながら、地理的に考える力を身につけることを目指します。

学習している「国際社会」の内容と、私たちの生活とのつながりを常に意識しながら、地球的な視野を持って学習を進めていきましょう。

2 学習の到達目標

- ・「世界の地理的事象についての基本的な知識」と「地図やGISを活用できる地理的技能」が身についている。
- ・世界の生活や文化の多様性、国々の結びつきを理解するとともに、そこから生じる社会の課題について、地理的な見方・考え方に基づいて自分なりの意見を出し、人に伝えることができる。
- ・災害と隣り合わせのわが国において、地域調査を含めた防災への意識を醸成する。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	<p>国際社会の地理的課題について、理解するための知識が身に付いている。</p> <p>国際社会の地理的課題について、地図・地球儀・統計調査などで情報を正しく読み取り活用する力</p>	<p>国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。</p>	<p>自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢を表す。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期 中間	地図や地理情報システムと現代社会	地球儀と地図 地図と地理情報システム	<p>a:地球儀やささまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。地球儀やささまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。</p> <p>b:各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>	定期テ スト ワーク シート	定期テ スト ワーク シート	定期テ スト ワーク シート

※令和4年度以降入学生用

2学期中間	事例研究(地誌)	産業(東アジア、アメリカ合衆国)	a:歴史や宗教、自然環境と人々の生活との深い結びつきによる、古くからの景観や文化の継承について理解している。経済発展、外国とのつながりに伴う人々の生活文化の変化について理解している。	定期テスト	定期テスト	定期テスト
		結びつき(東南アジア、オセアニア)	b:歴史や宗教、自然環境に着目しながら、人々の価値観がどのように育まれてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。産業の特徴に着目しながら、経済発展や外国とのつながりに伴う人々の生活や文化の変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
		宗教・歴史(インド、サハラ以南アフリカ、ヨーロッパ、ラテンアメリカ)	c:特徴的な自然環境、歴史や宗教、経済発展、外国とのつながりによる人々の生活の変化について、主体的に追究し、課題を見いだしている。			課題
		自然環境(中央アジア・西アジア・北アフリカ、ロシア)				

※令和4年度以降入学生用

2学期期末	地球的課題と国際協力	人口問題 食糧問題 都市・居住問題 感染症・衛生問題 資源・エネルギー問題 地球環境問題	a:地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート 課題
3学期学年末	自然環境と防災	日本の自然環境 地震・津波や火山活動による災害と防災 気象災害と防災 自然災害への備え	a:自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 b:どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート	定期テスト ワークシート 課題

※令和4年度以降入学生用

	<p style="text-align: center;">生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>生活圏の調査と地域の展望</p>	<p>a:生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。</p> <p>b:事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。</p>			
--	---	---------------------	--	--	--	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表 GEO（第一学習社）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界の様々な国や地域の中には、異なる場所であるにも関わらず、同じような環境や文化の地域があれば、反対に、全く正反対の環境や文化で生活している地域もあります。2年生の「地理総合」で培った基礎的な「地理的な見方・考え方」や「地理的な知識・技能」をより高度なものへ発展させつつ、グループワークやプレゼン発表を通して発信力・表現力を高めるとともに、世界の様々な国や地域を比較・探究しながら総合的な地誌的能力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

- ・「世界の地理的事象についての発展的な知識」と「地図やGISを活用できる地理的技能」が身についている。
- ・世界の様々な地域を地誌的な見方・考え方で捉えることのできる知識・技能を養う。
- ・グループによる地誌研究を通して、学習内容を自ら探究する力と総合的な地誌的能力を養う。
- ・グループによる研究発表を通して、人に伝える力と地域の類似性や相違性の知識を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	国際社会の地理的課題について理解するとともに、世界の地誌的内容について理解する力を付ける。	世界の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。	自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢を示す。
	国際社会の地理的課題について、パソコンや統計調査、地図を用いて情報収集や発表資料を作成する力を付ける。		
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

1学期中間	自然環境	<p>地形</p> <p>気候</p> <p>日本の自然環境</p> <p>地球環境問題</p>	<p>a:地形, 気候, 生態系などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 地球環境問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>b:地形, 気候, 生態系などに関わる諸事象について, 場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c:自然環境について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>定期テスト</p> <p>ワークシート</p>	<p>授業の取り組み・態度</p> <p>ワークシート</p> <p>課題</p>
1学期期末	資源と産業	<p>農林水産業</p> <p>食糧問題</p> <p>エネルギー・鉱産資源</p> <p>資源・エネルギー問題</p> <p>工業</p> <p>第3次産業</p>	<p>a:資源・エネルギーや農業, 工業などに関わる諸事象をもとに, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 資源・エネルギー, 食料問題の現状や要因, 解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>b:資源・エネルギーや農業, 工業などに関わる諸事象について, 場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して, 主題を設定し, それらの事象の空間的な規則性, 傾向性や, 関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c:資源, 産業について, よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期テスト</p> <p>小テスト</p>	<p>定期テスト</p> <p>ワークシート</p>	<p>授業の取り組み・態度</p> <p>ワークシート</p> <p>課題</p>

※令和4年度以降入学生用

2 学期 中間	交通・通信と観光、貿易	交通・通信	<p>a:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>b:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>c:交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト	授業の 取り組み・態度 ワークシート 課題
		観光 貿易と経済圏		人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	<p>a:人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>b:人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>c:人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	
2 学期 期末	生活文化、民族・宗教	衣食住	<p>a:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>b:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>c:生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期テスト	定期テスト	授業の 取り組み・態度 ワークシート
民族・宗教と 民族問題 国家の領域と 領土問題		小テスト		ワークシート		

※令和4年度以降入学生用

	現代世界の諸地域	中国 韓国 ASEAN諸国 インド 西アジアと中央アジア アフリカ EU諸国 ロシア アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オーストラリアとニュージーランド	a:いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b:現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			シート 課題
--	----------	---	--	--	--	---------------

※令和4年度以降入学生用

3 学期 学年 末	持続 可能 な 国 土 像 の 探 究	将来の国土の 在り方 持続可能な日 本の国土像の 探究	a:現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 b:現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 c:持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期テ スト 小テス ト	定期テ スト ワーク シート	授業の 取り組 み・態 度 ワーク シート 課題
--------------------	---	---	--	---------------------------	-----------------------------	--

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「わたしたちの歴史 日本から世界へ」(山川出版社)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

歴史総合は、日本の歴史と世界の歴史を関連づけながら学習する科目です。大きな視点で現代の世界をみると、様々な課題が横たわっていることに気づくかもしれません。それらの課題は「ある日、突然に」生じたことではありません。では「いつ」「どのように」生じたのか、歴史を学ぶことは、これらの疑問を探ることです。歴史を学ぶことを通じて、みなさんが現在、私たちの抱える課題を少しでも解決して、よりよい社会をつくりあげようとする気持ちを強くすることができれば、これ以上のよろこびはありません。

2 学習の到達目標

- ・日本の歴史を、世界という視点から理解し学ぶ。
- ・「歴史の基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- ・社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し人に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観点の趣旨	歴史総合の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	歴史総合の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	歴史総合の授業内容が、自己の将来において役立つ場면을具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
	<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>		

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

1 学期 中間	近代化と私たち	・18世紀の世界とアジア	a: 18世紀のアジアの情勢と日本との関わりについての知識を理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・産業革命	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。		ワーク シート 課題	授業 プリン ト
		・日本の開国				
		・市民革命と国民統合	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		小 テスト	振返り シート

※令和4年度以降入学生用

1 学 期 期 末	・ 明治維新	a: 開国後の日本が諸外国から受けた影響とその後の変化について理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
	・ 富国強兵と文 明開化	b: 歴史を学んだん上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。		ワーク シート	授業 プリン ト
	・ 大日本帝国憲 法の制定	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		課題	振返り シート
	・ 帝国主義			小 テスト	
	・ 日清戦争				
	・ 日露戦争				

※令和4年度以降入学生用

2 学期 中間	国際 秩序 の 変化 や 大衆 化 と 私 たち	・大衆運動	a: 第一次世界大戦や、ロシア革命と その影響についての知識を理解し、活 用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・第一次世界大 戦	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。		ワーク シート	授業 プリン ト
		・ロシア革命と その影響	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		課題 小 テスト	振返り シート
		・社会運動の広 がり				
		・アジアの民族 運動				

※令和4年度以降入学生用

2 学 期 期 末		・世界恐慌	a: 第二次世界大戦の経過やその後の 国際秩序について理解し、活用するこ とができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・独裁勢力の台 頭	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。		ワーク シート	授業 プリン ト
		・日本のアジア 進出			課題	振返り
		・第二次世界大 戦	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		小 テスト	シート
		・戦後国際秩序				
		・冷戦の始まり				

※令和4年度以降入学生用

3 学期 学年 末	グ ロー バル 化 と 私 た ち	・日本国憲法	a: 日本国憲法の成立や、日本の経済 大国への歩みなどの知識を理解し、活 用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・日本の独立			ワーク	授業
		・第三世界の登 場	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。		シート 課題	プリン ト
		・冷戦の展開			小	振返り シート
		・高度経済成長	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		テスト	
		・ベトナム戦争				
		・日本の経済大 国化				
		・日本の諸課題				

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	詳説日本史（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史は、私たちの住む日本列島の中での人々の歩みを探るものですが、その歩みは様々な地域との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたものです。したがって、私たちは周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や、日本と諸外国との関係に目を向けていく必要があります。日本史探究はそのような視点から日本の歩みを知ること、現代の日本に様々な課題が横たわっていることに気づくかもしれません。それらの課題は「ある日、突然に」生じたことではありません。では「いつ」「どのように」生じたのか、日本史を学ぶことは、これらの疑問を探ることです。日本史を学ぶことを通じて、みなさんが現在、私たちの抱える課題を少しでも解決して、よりよい社会をつくりあげようとする気持ちを強くすることができれば、これ以上のよろこびはありません。

2 学習の到達目標

- ・日本史の全体像を理解する。
- ・「日本史の基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- ・社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し人に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観点の趣旨	日本史の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	日本史の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	日本史の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
	<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>		

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

1 学期 中間	元 始 ・ 古 代 ・ 中 世	・ 日本文化の あけぼの	a:ヤマト政権の成り立ちや律令国家の形成についての知識を理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ 古墳とヤマト 政権	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切		ワーク シート	授業 プリン ト
		・ 律令国家の 形成	かつ効果的に調べまとめて表現することができる。		課題 小	振返り シート
		・ 貴族政治の 展開	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		テスト	課題

※令和4年度以降入学生用

1 学 期 期 末	・院政と武士の 躍進	a: 院政や武家政権の成立について理 解し、知識を活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
	・武家政権の 成立	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。		ワーク シート	授業 プリン ト
	・武家社会の 成長	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		課題 小 テスト	振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

2 学期 中間	近 世	・近世の幕開け	a:幕藩体制の成立や展開についての知識を理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・幕藩体制の成立と展開	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。 c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		ワーク シート 課題 小 テスト	授業 プリン ト 振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

2 学 期 期 末	・幕藩体制の 成立と展開	a:幕藩体制の変化や社会に与えた影 響について理解し、知識を活用するこ とができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
	・幕藩体制の 動揺	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。		ワーク シート 課題	授業 プリン ト
		c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		小 テスト	振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

3 学期 学年末	近代・現代	・近世から 近代へ	a:近世からの移り変わりや近代国家の成立について理解し、知識を活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度	
		・近代国家の 成立	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切		ワーク シート	授業 プリン ト	
		・近代国家の 展開	かつ効果的に調べまとめて表現することができる。		課題	振返り シート	
		・近代の産業と 生活	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		小 テスト	課題	
		・恐慌と第二次 世界大戦					
		・占領下の日本					
		・高度成長の 時代					
		・激動する世界 と日本					

※令和4年度以降入学生用

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界探究	単位数	4単位	学年	3年次
使用教科書	世界史探究（実教出版）						
副教材等	世界史のミュージアム（とうほう）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、様々な人々・民族とともにこの地球上で生活しています。そして、彼らとともに現代の課題を解決していくことが強く求められています。そのためには、この多くの人々のことをよく理解する必要があります。「世界史探究」は、この地球で生活してきた人々・民族の歩みを学習することをおして、私

2 学習の到達目標

- ・「世界史についての基本的な知識」と「資料等を活用して、歴史を読み取る力」が身についている。
- ・世界史を多面的、多角的に考察し、「歴史的思考力」が身についている。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	世界史の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、資料を活用して考察する技能を習得できている。	世界史の授業内容について、同時代の世界の概念などを読み解く思考力を身につけ、多面的・多角的に考察、判断したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて表現できる。	世界史の授業内容を通して、過去から現在までの変化の道筋を理解し、私たちが直面する諸問題のあり方を検討し、グローバル社会における生活を豊かにすることができる。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	単 元（題 材）の 評 価 規 準	評 価 方 法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

1学期中間	諸地域の歴史的特質の形成	・ 古代文明	a:古代文明の成り立ち、諸地域の歴史的特質の形成について発展的な知識	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ 東アジアと ユーラシア	を理解し、活用することができる。 b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を発展的に調べまとめて表現することができる。	小テスト	ワーク シート	授業 プリント 課題 振返り シート
		・ 南アジアと 東南アジア	c: 歴史的な観点から、古代文明の成立からつながる現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		課題	課題

※令和4年度以降入学生用

1 学 期 期 末		・西アジアと 地中海周辺	a: 世界各地の古代文明を通して、その共通点に着目しながら発展的な知識を理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ヨーロッパの 形成	b: 10世紀ごろまでの歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な発展的な情報や自分の意見を調べまとめて表現することができる。	小テスト	ワーク シート 課題	授業 プリント 振返り シート
			c: 歴史的な観点から、各地に誕生した王権国家や宗教の学びを通して、現代の諸課題とつながる点に目を向け、主体的に課題解決しようとしている。			課題

※令和4年度以降入学生用

2 学期 中間	諸 地 域 の 交 流 と 再 編	・イスラーム圏 の成立とヨーロ ッパの再編	a:ヨーロッパの主権国家体制、アジア の交易覇権帝国に関する発展的な知 識を理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ユーラシア地 域、帝国の交流 と再編	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な発展的な情 報や自分の意見を調べまとめて表現 することができる。	小テス ト	ワーク シート 課題	授業 プリン ト 振返り シート
		・近世ヨーロッ パの形成	c: 歴史的な観点から、各地域の再編 と交流によって誕生した歴史的特質 に目を向け、主体的に課題解決しよう としている。			課題

※令和4年度以降入学生用

2 学 期 期 末	諸 地 域 の 結 合 と 変 容	・産業革命と 大西洋革命	a:諸地域の交流と再編のなかからど うのようにし世界の一体化が始まっ たかを理解し、発展的な知識を活用す ることができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・近代欧米の 国民国家	b: 近代世界の再編や交流を学んだ上 で自分の意見を持ち、かつ諸資料から 様々な発展的な情報や自分の意見を 調べまとめて表現することができる。	小テス ト	ワーク シート	授業 プリン ト
		・帝国主義と 諸地域の抵抗	c: 歴史的な観点から、国民国家の成 立の過程を通じて、近世世界と現代世 界の課題のつながりに目を向け、主体 的に課題解決しようとしている。		課題	振返り シート
		・第一次世界 大戦				課題

※令和4年度以降入学生用

3 学期 学年 末	地球 世界 の 課題	・ 第二次世界 大戦	a:第二次世界大戦後の現代世界の背 形成、地球的課題について理解し、発 展的な知識を活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ 冷戦と現代 世界	b: 現代の地球的課題を学んだ上で自 分の意見を持ち、かつ諸資料から様々 な発展的な情報や自分の意見を調べ まとめて表現することができる。	小 テ ス ト	ワー ク シート	授業 プリン ト
		・ 世界課題の 探究	c: 歴史的な観点から現代の地球的課 題に目を向け、主体的に解決しようと している。		課題	振返り シート 課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版社）						
副教材等	詳説日本史（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本史は、私たちの住む日本列島の中での人々の歩みを探るものですが、その歩みは様々な地域との交流の中で、その影響を受けつつ展開してきたものです。したがって、私たちは周辺の国々をはじめとする各地域の歴史や、日本と諸外国との関係に目を向けていく必要があります。日本史探究はそのような視点から日本の歩みを知ること、現代の日本に様々な課題が横たわっていることに気づくかもしれません。それらの課題は「ある日、突然に」生じたことではありません。では「いつ」「どのように」生じたのか、日本史を学ぶことは、これらの疑問を探ることです。日本史を学ぶことを通じて、みなさんが現在、私たちの抱える課題を少しでも解決して、よりよい社会をつくりあげようとする気持ちを強くすることができれば、これ以上のよろこびはありません。

2 学習の到達目標

- ・日本史の全体像を理解する。
- ・「日本史の基本的な知識」と「資料等を活用し、歴史を読み取る技能」が身についている。
- ・社会の変化や課題について、歴史的な見方・考え方に基づいて考察し人に伝えることができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観点の趣旨	日本史の授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	日本史の授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	日本史の授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、国家及び社会の形成者として、主体的に行動することができる。
	<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>		

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

1 学期 中間	近 世 ・ 近 代	・幕藩体制の 動揺	a: 幕藩体制の変化や社会に与えた影 響について理解し、知識を活用するこ とができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
			b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。		ワーク シート 課題	授業 プリン ト
			c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		小 テスト	振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

1 学 期 期 末		・近世から 近代へ	<p>a: 近世からの移り変わりを理解し、知識を活用することができる</p> <p>b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。</p> <p>c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。</p>	定期 テスト	定期 テスト ワーク シート 課題 小 テスト	授業 態度 授業 プリン ト 振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

2 学期 中間	近代	・近代国家の 成立	a: 近代国家の成立について理解し、 知識を活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・近代国家の 展開	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。 c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		ワーク シート 課題 小 テスト	授業 プリン ト 振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

2 学 期 期 末	・近代の産業と 生活	a: 近代産業の発達とそれによる社会 の変化を理解し、知識を活用すること ができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
	・恐慌と第二次 世界大戦	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。		ワーク シート 課題	授業 プリン ト 振返り
		c: 歴史的な観点から現代の諸課題に 目を向け、主体的に解決しようとして いる。		小 テスト	シート 課題

※令和4年度以降入学生用

3 学期 学年末	近代・現代	・ 占領下の日本	a:冷戦による占領政策の 転換を理解し、国際社会における現在の日本について理解し、知識を活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ 高度成長の時代	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。		ワーク シート	授業 プリン ト
		・ 激動する世界と日本	c: 歴史的な観点から現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		課題 小 テスト	振返り シート 課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史演習	単位数	2単位	学年	3年次
使用教科書	世界史探究（実教出版）						
副教材等	世界史のミュージアム（とうほう）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年次の「歴史総合」、3年次の「世界史探究」を学習したうえで、発展的な内容を学習するのが、「世界史演習」となります。世界の国々の歴史や文化を理解した上で、現代世界の成り立ちの過程を知ること、互いを尊重する姿勢を養い、私たちが直面する様々な課題を世界の人々とともに解決していけるよう

2 学習の到達目標

- ・「世界史についての発展的な知識」と「資料等を活用して、歴史を読み取る力」が身についている。
- ・世界史を多面的、多角的に考察し、発展的な「歴史的思考力」が身についている。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	世界史の授業内容について理解し、発展的な知識を身に付けるとともに、資料を活用して考察、活用する技能を習得できている。	世界史の授業内容について、同時代の世界の概念などを読み解く思考力を身につけ、多面的・多角的に考察、判断したり、現在の社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて表現できる。	世界史の授業内容を通して、過去から現在までの変化の道筋を理解し、私たちが直面する諸問題のあり方を検討し、グローバル社会における生活を豊かにすることができる。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	単 元（題 材）の 評 価 規 準	評 価 方 法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

1学期中間	諸地域の歴史的特質の形成	・ 古代文明	a:古代文明の成り立ち、諸地域の歴史的特質の形成についての知識を理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ 東アジアとユーラシア	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。	小テスト	ワークシート	授業 プリント
		・ 南アジアと東南アジア	c: 歴史的な観点から、古代文明の成立からつながる現代の諸課題に目を向け、主体的に解決しようとしている。		課題	振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

1 学 期 期 末	・西アジアと 地中海周辺	a: 世界各地の古代文明を通して、その共通点に着目しながら知識を理解し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
	・ヨーロッパの 形成	b: 10世紀ごろまでの歴史を学んだ上で自分の意見を持ち、かつ諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめて表現することができる。 c: 歴史的な観点から、各地に誕生した王権国家や宗教の学びを通して、現代の諸課題とつながる点に目を向け、主体的に課題解決しようとしている。	小テス ト	ワーク シート 課題	授業 プリン ト 振返り シート 課題

※令和4年度以降入学生用

2 学期 中間	諸 地 域 の 交 流 と 再 編	・イスラーム圏 の成立とヨーロ ッパの再編	a:ヨーロッパの主権国家体制、アジア の交易覇権帝国に関する知識を理解 し、活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ユーラシア地 域、帝国の交流 と再編	b: 歴史を学んだ上で自分の意見を持 ち、かつ諸資料から様々な情報を適切 かつ効果的に調べまとめて表現する ことができる。	小テス ト	ワーク シート 課題	授業 プリン ト 振返り シート
		・近世ヨーロッ パの形成	c: 歴史的な観点から、各地域の再編 と交流によって誕生した歴史的特質 に目を向け、主体的に課題解決しよう としている。			課題

※令和4年度以降入学生用

2 学 期 期 末	諸 地 域 の 結 合 と 変 容	・産業革命と 大西洋革命	a:諸地域の交流と再編のなかからど うのようにし世界の一体化が始まっ たかを理解し、知識を活用することが できる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度	
		・近代欧米の 国民国家	b: 近代世界の再編や交流を学んだ上 で自分の意見を持ち、かつ諸資料から 様々な情報を適切かつ効果的に調べ まとめて表現することができる。	小テス ト	ワーク シート	授業 プリン ト	
		・帝国主義と 諸地域の抵抗				課題	振返り シート
		・第一次世界 大戦	c: 歴史的な観点から、国民国家の成 立の過程を通じて、近世世界と現代世 界の課題のつながりに目を向け、主体 的に課題解決しようとしている。				課題

※令和4年度以降入学生用

3 学期 学 年 末	地球 世界 の 課 題	・ 第二次世界 大戦	a:第二次世界大戦後の現代世界の背 形成、地球的課題について理解し、知 識を活用することができる。	定期 テスト	定期 テスト	授業 態度
		・ 冷戦と現代 世界	b: 現代の地球的課題を学んだ上で自 分の意見を持ち、かつ諸資料から様々 な情報を適切かつ効果的に調べまと めて表現することができる。	小 テ ス ト	ワー ク シート	授業 プリン ト
		・ 世界課題の 探究	c: 歴史的な観点から現代の地球的課 題に目を向け、主体的に解決しようと している。		課題	振返り シート 課題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度